

レポート

(審議内容の一部を掲載しました)

総務文教

役場の組織再編「大課制」で多くの議論

例えば税務の関係は課長も補佐もないが、一つの係になってしまう。係長なども含め、今度の組織再編の協議はされたのか。

メリットは1千500万円の経費削減という説明だが、住民サービスが大きな課題である。課長補佐の決裁権はどのようになるか。

A 課長の中で協議したが、係長まではやってない。組織再編の前段の中で、各課からの要望事項等は吸い上げていく。

A 課長の決裁権は、それぞれ項目等によって金額が違うので、今までの課長の決裁金額を端的には言えない。補佐は今まで決裁権がなかったが、今回20万円未満のものに対して決裁権を持たせた。

利用者の少ない生活バス路線の見直しが予算化

生活バス路線は町民から巡回バスの要望が強い。軽井沢、小諸線、小沼線は利用者が少ないが…。

A 廃止路線代替バスというところで、すでに千曲バスは廃止されているが、それぞれの関係市町村の委託を受けて運行している。補助を止めればバスの運行は廃止になる。

A 利用者は少ないが、利用者は公共交通機関を利用しなければならない理由がある。病院や買物など町外へ公共交通機関も必要だと思ふ。調査、研究し新しい公共交通機関のあり方を考えていきたい。

軽井沢線、小諸線は補助しないと、千曲バスはその運行を止めてしまうということか。

